

小学部

領域・教科名 日常生活の指導	所属（学部・学年） 小学部1年	①
-------------------	--------------------	---

ねらい

- 朝の準備や帰りの準備のスケジュールになっても、何をすべきかわからず、また発語がなく支援の要求が難しい児童に対して、
①朝の準備や帰りの準備、身支度が自分でできるようにする。
②準備や身支度が終わったら、「おわりました」と報告することができるようにする。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

①机上に、朝の準備で何をするのかがわかるように、写真やイラストカードを貼っておく。

②準備が終わったら、カードを裏返す⇒「おわりました😊」
全部のカードが「おわりました😊」になったらおしまいです。

③全部終わったら、「せんせいおわりました」のカードを教師に渡して、チェックをしてもらいます。

帰りの準備バージョン
も用意しています！

ひとこと！

スケジュールを取っても、じっとしていた児童が、このカードを手掛かりにして、1人で朝の準備や帰りの準備ができるようになってきました。本人も嬉しそうな誇らしげな表情をしています。

領域・教科名 日常生活の指導	所属（学部・学年） 小学部2年	①
-------------------	--------------------	---

ねらい

・少ない支援で、できるだけ自分で着替えに取り組むことができる。

支援の説明（使用方法、配慮点など）



手順書（リバーシブル）

表は朝、裏は帰りの着替えの手順書になっている。朝は赤、帰りは緑のサークルを着替えの手順書に貼って区別している。



↑着替えのエリア



足型

この上に立って、シューズを脱ぐ。



ハンカチ入れ

ハンカチを一時的に置く。



イヤーマフ入れ

外したイヤーマフを一時的に置く。



脱いだ服を入れるかご

これから着る服と脱いだ服のかごを分けておく。

ひとつこと！

朝（体操服へ）と帰り（私服）の着替えの手順書が表裏で一つになっているので、便利です。物を置く場所が決まっていることで、視覚的にわかりやすく、1つずつ物を整理しながら取り組むことができます。

領域・教科名 生活単元学習 各教科	所属（学部・学年） 小学部2年	(2)
-------------------------	--------------------	-----

ねらい

- 学習内容や流れを前面に提示し、見通しをもって活動に取り組むことができるようとする。

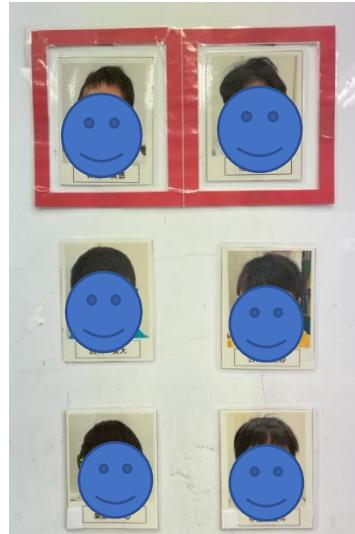
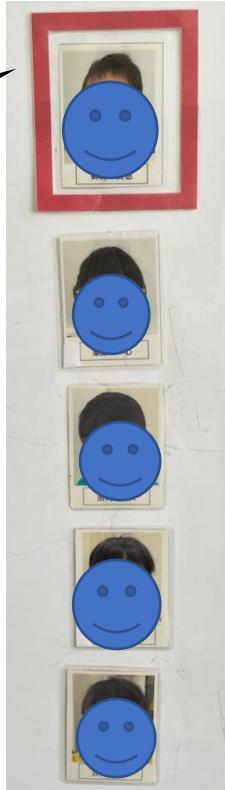
支援の説明（使用方法、配慮点など）

学習の流れを提示



赤い枠の中に今から
すること(人)をはる。
→終わったらとりはずす。

活動の順番を提示



2人ずつver.

手元にあった方がよい
児童には、個別に準備。



1人ずつver.

ひとこと！

活動が終わるとカードが一つずつ減っていくので、視覚的に終わりが分かりやすいです。順番を写真で提示することで、児童がより理解しやすく、待ったり準備をしたりすることができます。（TTで授業をする際にも、順番が分かって動きやすいです。）

領域・教科名 自立活動	所属（学部・学年） 小学部3年	(3)
----------------	--------------------	-----

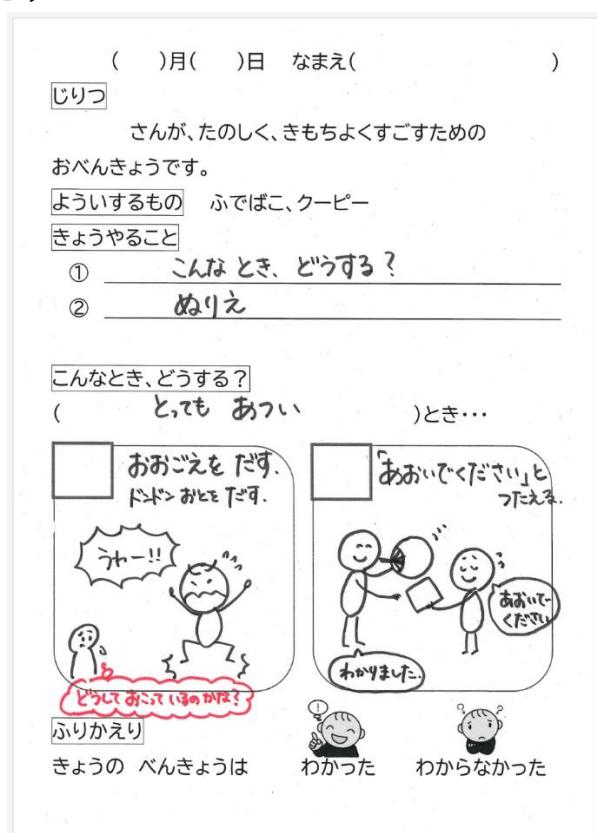
ねらい

- ・口頭指示を理解することが難しい児童に対して、視覚的に情報を提示し、理解しやすいようにする。
- ・学習の見通しをもたせ、落ち着いて活動に取り組めるようにする。
- ・要求のカードを使う場面を意図的に設定し、学習したことを、普段の生活場面で生かせるようにする。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

①自立活動学習プリント

- ・毎日の自立活動の時間に使用する。
- ・学習の流れを統一し、最初に提示することで、落ち着いて学習に取り組めるようにする。
- ・「こんなとき、どうする？」では、日々の児童の行動を観察し、内容を考える。
- ・児童は、より適切な方法を選択し、その場でロールプレイングを行う。



②掲示用イラスト

- ・不適切な行動を起こした時に、その場で絵に書いて説明をする。（その後、改めて①のプリントで指導した）
- ・机に貼り、いつでも確認できるようにする。



③コミュニケーションカード

- 自立活動で学んだことを日常生活で生かすことができるよう、要求する場面を意図的に設定し、カードの使用を促す。



ひとこと！

自立活動のプリントや、机の上のイラストは、余暇の時間にも指差しをしながら読んだり、絵を見たりする姿がよく見られました。今では、「あおいでください」と言葉でも伝えることができるようになりました。

子どもの行動をよく観察し、何が得意なのか、何が好きなのかを探ることが、支援方法を考えるときに役立ちました。

領域・教科名 自立活動 日常生活の指導	所属（学部・学年） 小学部4年	①
---------------------------	--------------------	---

ねらい

- 授業前の休憩時間からの切り替えをする。
- 授業の始まりを座って待つことができる。
- 離席せずに、参加する。

支援の説明（使用方法、配慮点など）



○児童の机の上に、貼り付けてあります。

○着席した時点（ポイント！）で、花丸を貼ります。4つ花丸がたまると、大好きなご褒美が、帰りにもらえます。

○初めは、授業スタート時に座ったらすぐに花丸を貼り、できていることを評価します。

ひとこと！

その児童の、どういった行動に対して「花丸！」なのか本人に分かるように貼って示すことが大事です。

領域・教科名 自立活動	所属（学部・学年） 小学部5年	②
----------------	--------------------	---

ねらい

- ・ビーズを紐に通す経験を積む
- ・目と手の協応動作の向上、左右の手の動きへの意識を高める
- ・課題の指示を理解し、指示通りに行う

支援の説明（使用方法、配慮点など）

①



紐の色とビーズの色を見て、色分けし、3色ビーズを通す課題。紐の先は、ビーズが通し易いように固くなっています。

②



最初に通してあるビーズの色に合わせて5色ビーズを通す課題。①と違って紐の色は全部黒。ビーズ容器を平たくすると、目的の色を探し易くなる。

③



写真を見て、写真通りにビーズを通す課題。ビーズの色が分かりやすいように、色別で分けて用意。

④



ビーズを入れるケースに数字を貼って順番に通す課題。順序数が分かる子ども用。写真は、必要な子に補助的に提示。

ひとつこと！ 同じ道具を使うビーズ通しの課題でも、手立てをちょっと変えるだけで違う課題になります。子どもの実態・ねらい（どこに注目してほしいか）に合わせて、セッティングします。指示通りにビーズを通せるようになったら、少ない支援で、こんな作品も作れます。

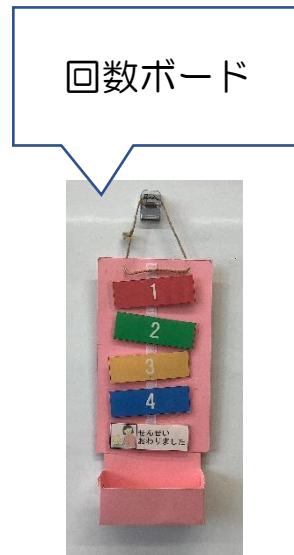


領域・教科名 生活単元学習	所属（学部・学年） 小学部5年	③
------------------	--------------------	---

ねらい

- ・視覚的な手掛けりを使って、自発的に掃除をする。

支援の説明（使用方法、配慮点など）



- ・長期休業前に集中して掃除単元に取り組んだ。
- ・教室前方と後方に区切って、養生テープで掃除の範囲と雑巾がけの方向を示した。
- ・ほうきのときは、小さく切った紙を教師がまいて、掃いた。
- ・雑巾がけのときは、矢印のところに児童が並んで、拭いた。
- ・ほうきで丁寧に掃き、設定された時間いっぱい、または回数ボードで、雑巾がけができた。

ひとこと！

このテープの手立てだけで、どこからどこまで掃除をするのか分かり、また範囲が狭いこともあって、子どもたちは意欲的に取り組んだ。



領域・教科名 図工	所属（学部・学年） 小学部6年	①
--------------	--------------------	---

ねらい

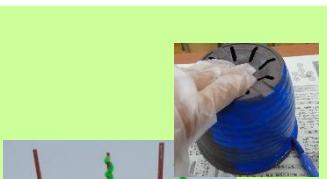
- ・形や色などに気付き、身近にある材料や用具を使ってかいたりつくったりする。
- ・身近なことから、表したいことを思いついている。
- ・形や色の違いに気付き、楽しくなるように自分で飾っている。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

卵パックに色水を作って、
コーヒーフィルターを染めて
朝顔の花を作りました。



自分でかいて、きっと
はっぱを付けました



植木鉢に好きな色を
塗り、竹ひごとモール
で支柱を作りました。



花、葉、つるを自分
で飾り付けました。

ひとこと！

せかいにひとつだけの「あさがお」ができました。

領域・教科名 日常生活の指導	所属（学部・学年） 小学部6年	③
-------------------	--------------------	---

ねらい

- ・余暇の活動は楽しんで欲しいが、折り紙やテープなどを、適量使ってほしい
- ・適切な方法で教師に要求を伝えてほしい

支援の説明（使用方法、配慮点など）



とめどなく折り紙、テープ、シールなどを使ってしまう...
適切な方法で教師に要求を伝えられるようになってほしい...

使うことができる枚数をカードで示します。カードを1枚とって教師に渡し、要求を伝えます。カードがなくなったら、おしまいです。

どのくらい使うことができるのかが分かりやすいように、数字を振っています。

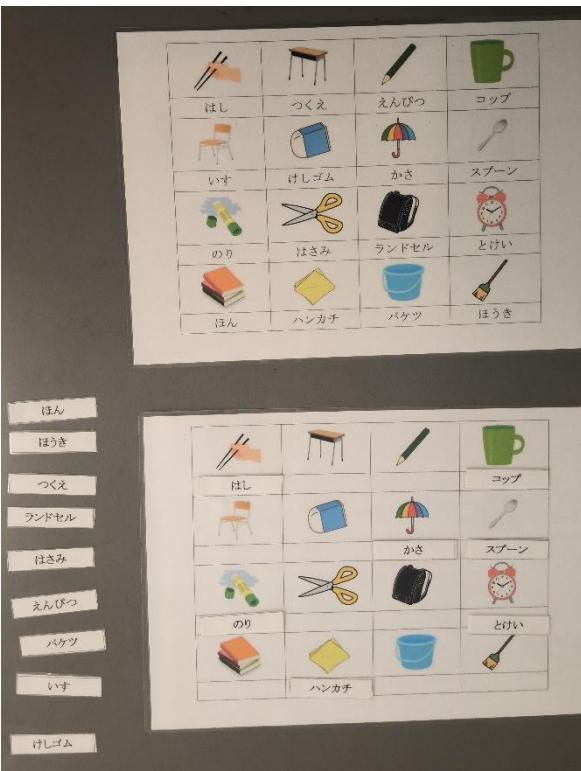
折り紙がなくなると、このカード台紙ごと片づけることで、切り替えにもなり、次の余暇の選択ができるようになりました。

枚数は、その日の余暇時間などによって変えています。

ひとこと

最初は、折り紙を1日で一袋使い切っても、「まだ欲しい！まだ使いたい！」というような様子でしたが、終わりが分かることで、次の遊びに自ら切り替える場面が増えてきました。

中学部

領域・教科名 国語	所属（学部・学年） 中学部1年	①
ねらい		
<ul style="list-style-type: none">お手本を見てイラストと名前を合わせることができる。物と名前（文字）のつながりを理解する。		
支援の説明（使用方法、配慮点など）		
<ul style="list-style-type: none">上のお手本を見ながら、マッチングをする。はじめのうちは指差しなどで生徒と一緒に確認しながら行う。		
		
ひとこと！		
文字の理解は難しいが、身近な物のイラストを使って視覚的に提示し、繰り返し学習することで、イラストと文字を合わせることができるようになってきた。		

領域・教科名 日常生活の指導	所属（学部・学年） 中学部1年	②
-------------------	--------------------	---

ねらい

- トイレで排泄する意識を高め、成功率を上げる。

支援の説明（使用方法、配慮点など）



トイレが成功したときや、
トイレに行きたいことを自分から言えたときに、ご褒美シールを渡す。

一週間で目標数のシールを集めることができたら、ご褒美として好きな絵が付いたカードをゲットできる。

ひとこと！

- シールが増えることを喜び、トイレに行くことを嫌がらなくなってきた。
- シールが目標数たまつたら、好きな絵が付いたカードをもらえるので、モチベーションが高まり、失敗も減りつつある。

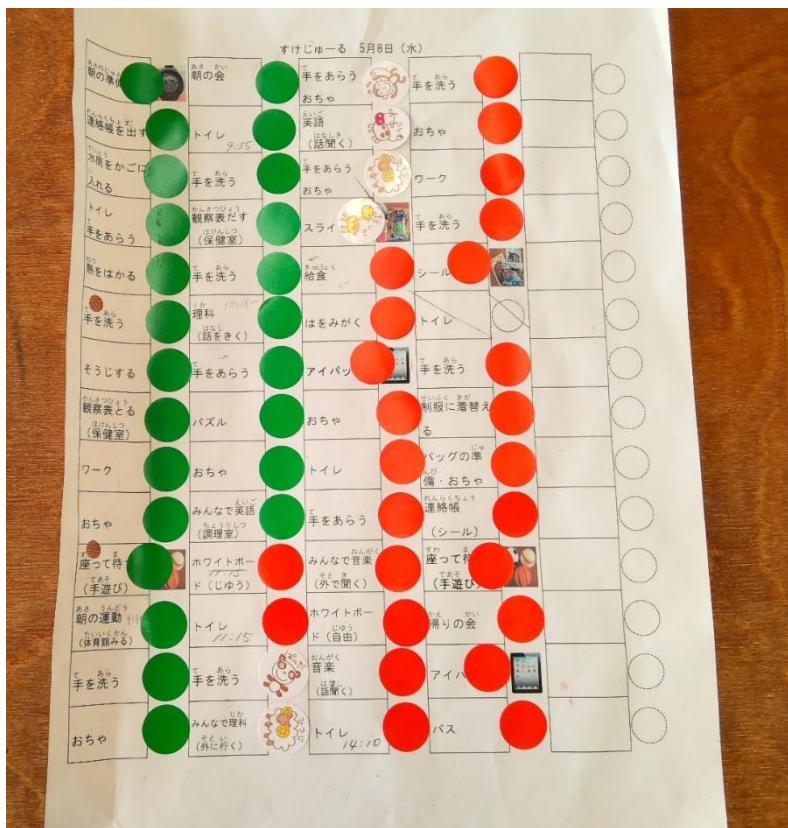
領域・教科名 日常生活の指導 自立活動	所属（学部・学年） 中学部1年	③
---------------------------	--------------------	---

ねらい

- 一日の流れに見通しをもち、好きなことを励みにして頑張って活動に参加する。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

- ごほうび（タブレット、ホワイトボードに自由にお絵描き）の活動まで見通しをもたせ、頑張ってもらうためのスケジュール



ひとつこと！
シールを貼るのが大好きなあの人。

領域・教科名 数学、自立活動	所属（学部・学年） 中学部1年	④
-------------------	--------------------	---

ねらい

- ・色のマッチングができる。
- ・手指の巧緻性を高める。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

- ・トレイのシールを見て、同じ色のフェルトボールをピンセットを使ってトレイに入れる。



ひとこと！

始めはピンセットの使い方が難しい様子だったので、少ない数のフェルトボールから始めて、徐々にフェルトボールの数を増やしていき、全部入れることができるようにになってきた。

領域・教科名
国語

所属（学部・学年）
中学部2年

①

ねらい

- 日常生活に身近な語彙の幅を広げる。
- 四字熟語や慣用句などの表現に親しむ。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

四字熟語（よじじゅくご）

え	ひらがな	かこう！
	いっせきにちょう 石鳥	一つのことをして、二つの利益(とく)を得る。
	じゅうにんといろ 人色	十人いれば、十人ともちがう。みんなちがって、みんないい。
	ひゃくぱつひゃくちゅう 発中	百回投げたら、百回あたる。すべて当たること。
	さんかんしおん 寒温	春先に、三日寒い日が続いたあと四日あたたかい日が続くこと。
	じきゆうじそく 給足	自分が食べるものを自分で育てたり作ったりする。
	しちてんはつき 転起	七回転んでも、八回目には起きあがること。
	いしんでんしん 以伝	言葉で言わなくともお互いの心が通じ合うこと。
	いちごいちえ 期会	一生に一度きりの出会い。ひととの出会いを大切にしよう。
	きどあいさく 怒哀樂	喜びと、怒りと、悲しみと楽しみ

イラストで意味がイメージできるようにし、意味の文から漢字を一字ずつ拾って、四字熟語を完成させる。

慣用句（かんようく）①

ひらがな	いみ
() が棒になる	たくさん歩いて、足がつかれる。
() が軽い	言ってはいけないことまで言ってしまう。
() を長くする	まちどおしい
() を丸くする	びっくりする
() がたたない	どうしてもかてない
() をぬく	いいかげんにやること。
() が高い	じまんして、とくいになること
() にタコができる	同じ話を何度もきかされて、いやになる

めみみはなくちはくびてあし
目耳鼻口歯首手足

イラストでヒントを示し、選択肢から語句を選ぶようにして、楽しみながら慣用句を完成させる。

ひとつこと！

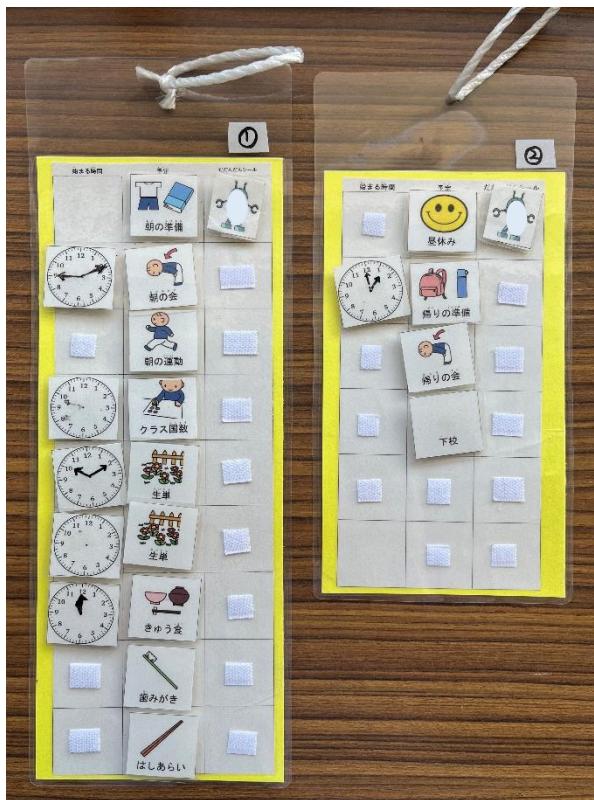
比較的身近な聞いたことがあるものを取り上げたことで、子どもたちが意欲的に楽しみながら学習できました。

領域・教科名 日常生活の指導 自立活動	所属（学部・学年） 中学部2年	⑥
---------------------------	--------------------	---

ねらい

- ・一日の流れを把握する。
- ・落ち着いて活動に参加する。

支援の説明（使用方法、配慮点など）



- ・活動後にシール(本人が好きなキャラクター)を移動させて次の活動を確認する。

【配慮点】

- ・午前、午後の活動を分けている。
- ・分かりやすいようにイラストにしている。
- ・漢字が苦手なので、読み仮名をつけている。
- ・時計が読めるので、決まった時間で始まる授業は時計を示している。

ひとこと！

- ・本人が好きなものを取り入れると、受け入れやすく持続する。
- ・イラストは今まで本人が使ってきたものを多く活用することで、安心して一人で取り組める。

領域・教科名 国語	所属（学部・学年） 中学部2年	④
--------------	--------------------	---

ねらい

- ・絵本の読み語りを通じて、絵本を読む・見ることを楽しむ。
- ・様々な絵本を通じて、興味関心を広げる。

支援の説明（使用方法、配慮点など）



個別学習が多い生徒たちを対象に、みんなと一緒に同じ教材で学習ができるよう、大型絵本を使って絵本の読み聞かせを行っている。短いストーリーを楽しむものや、語感や繰り返しのリズムを楽しむもの、自然科学の内容と、生徒たちが楽しめるよう多様なものを取り扱うようにしている。

生徒の反応を見ながら、大型絵本を生徒の近くに移動して、より興味・関心が高まるように工夫している。

ひとこと

市立図書館で大型絵本を借りています。
デジタルなものが多い中で、絵本への反応は良好です。

領域・教科名 自立活動	所属（学部・学年） 中学部3年	①
----------------	--------------------	---

ねらい

- 一人一人が安心して過ごすことができる教室の環境づくり
- 余暇を一人で過ごせるようにする
- ルールの目的や意味を理解する

支援の説明（使用方法、配慮点など）

① 生徒の「好き」を取り入れた仲間分け（アニメごとにキャラクターのカードを分ける）

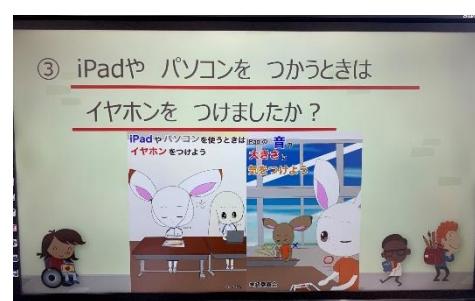
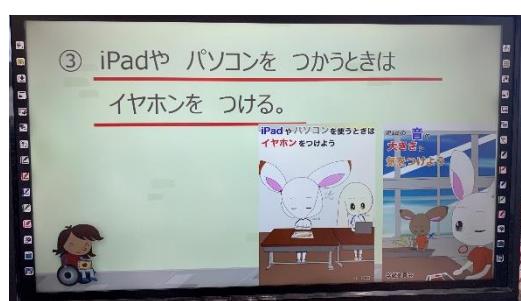
年度当初、休み時間に教室の中を歩き回る生徒が多く、落ち着いて過ごせる方法はないかと考えた。



「生き物」バージョン「乗り物」バージョンもあります！

②朝の会、帰りの会でのルールの確認

クラスのルールを決めてても、ルール自体を忘れてしまう生徒が多く、朝の会、帰りの会でルールの確認と振り返りを行うようにしている。

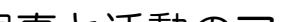


ひとつこと！

年度当初は休み時間が騒がしく、音の刺激に敏感な生徒もあり、トラブルもあったが、生徒が好きなアニメや漫画の仲間分けを取り入れたところ、夢中になって取り組むようになった。

ルールの確認の時間を毎日行うことでの、一人一人がルールを意識するようになり、指導する頻度が減った。教室の雰囲気が落ち着き、授業にも集中できるようになった。

高等部

領域・教科名 自立活動	所属（学部・学年） 高等部1年	①
ねらい ・視覚的に示すことでスムーズに行動に移せる。		
支援の説明（使用方法、配慮点など）		
		
		
		
		
ひとこと！ 写真や決まった文言を提示し、写真と活動のマッチングによって理解できるようにしています。		

領域・教科名 日常生活の指導	所属（学部・学年） 高等部 1 年	②
-------------------	----------------------	---

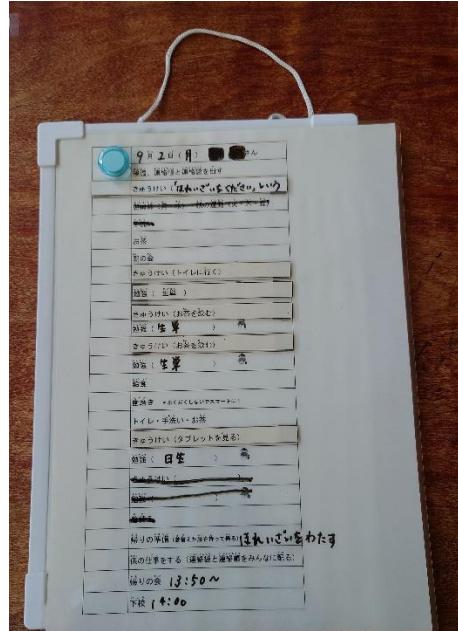
ねらい

- ・文字やイラストを使った視覚的支援。
- ・1日のスケジュールの確認。
- ・見通しをもって落ち着いて活動ができる。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

	月　日（　）　○○　○○さん
	検温、連絡帳と連絡袋を出す
着替え	
朝掃除（月・水）・朝の運動（火・木・金）	
手洗い	
お茶	
朝の会	
きゅうけい（　　）	
勉強（国語・数学・自立）	
きゅうけい（　　）	
勉強（　　）	
きゅうけい（　　）	
勉強（　　）	
給食	
歯磨き *ぶくぶくしないでスマートに！	
トイレ・手洗い・お茶	
ひるやすみ（　　）	
勉強（　　）	
きゅうけい（　　）	
勉強（　　）	
着替え	
帰りの準備（着替えた服を持って帰る）	
係の仕事をする（連絡袋と連絡帳をみんなに配る）	
帰りの会	
下校	

- ・毎朝登校して机の上に置いてあるスケジュールを確認する。
- ・活動が終わったら左の磁石を一つ下に移す。
- ・昼休みの活動内容は2つか3つの内容から生徒が選択して決める。
- ・授業中は机の横にかける。



ひとこと！

何をしたらいいかわからなくなると不安になる生徒なので、授業名だけでなく休憩中の活動内容もスケジュールに書くようにしています。

領域・教科名 日常生活の指導	所属（学部・学年） 高等部2年	②
-------------------	--------------------	---

ねらい

- ・集団の中での緊張を和らげる。
- ・次の行動に切り替えができるようにする。

支援の説明（使用方法、配慮点など）

慣れない場や集団が苦手なため、緊張を和らげ、気持ちを落ち着かせることを目的に、椅子の足にテニスボールをはめてゆらしやすくしたり、椅子の代わりにバランスボールに座るように促したりします。



休み時間の終わりを意識できるように、自転車のカギを渡すときにセットしたタイマーを渡して自転車乗りが終われるようにしています。



ひとつこと！

落ち着きアイテムで安心できます！
時間も場所もみんなと一緒に！

寄宿舎

領域・教科名	所属(学部・学年)	12
	寄宿舎 女子棟 中学部 2年	

ねらい

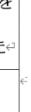
- ・その場で声をかけられると不穏になる為、冷静に振り返りができるようになる。
- ・トークンシステムを活用することで苦手なことに対して前向きに取り組めるようになる。

支援の説明(使用方法、配慮点など)

振り返りシート(チェック表)

そうじ [□]	手順書に沿ってできた [□]	
	■さん [□]	先生 [□]
⇨ ⇨		
気持ちのコントロール [□]	他の人の前で、物を投げたり いたりしていた [□]	イライラした時に、カーテンを閉めて自分のスペースに行けた [□]
	■さん [□]	先生 [□]
⇨ ⇨ ⇨ ⇨		

そうじの手順-ぞうきん編-

①	窓を開ける。	
	窓から床まで、まっすぐ掃除機をかける。 ※物がある時は、動かして掃除機をかける。	
②	ぞうきんを1枚ずつ洗って、しぼります。 ※水が出なくなるまで、ぎゅっと、しぼります。	
		
③	ぞうきんを2つに折りたたんで、窓をふきます。	
		
④	ぞうきんをたたんで床をふきます。	
		
⑤	ぞうきんをパケツで1枚ずつ洗ってしぼります。 ※水が出なくなるまで、ぎゅっと、しぼります。	
		
⑥	窓を閉めます。	
		
⑦	友達がまだ終わっていない時は手伝います。 終わったら、あいさつをします。	
		

掃除が終わってから自分でチェック表を見て、確認する。

トークン表

チェック表 全部○がついたら1枚です(^^♪)

1 [□]	2 [□]	3 [□]	4 [□]	ゴール☆ [△]
◎	⇨	⇨	⇨	1枚カードがもらえる★

・その場では指導せずに、夜1日の振り返るようにした。

・振り返りの項目が全部○で1枚
◎シールをもらう。

ご褒美カード



・◎シール4枚で、ご褒美のカードを1枚

ひとつこと!

好きなキャラクターのカードがモチベーションとなり、掃除など意欲的に取り組んでいます。掃除ができない時にも「振り返りの時に伝えます。」と話すと、気付いて取り組むことができています。

夏休みは家庭に持ち帰り、自分の洗濯を干すと話しています。家庭のお手伝いへ反映していければいいなと思います。

領域・教科名

所属（学部・学年）

寄宿舎 男子棟

ねらい

- ・見通しをもって寄宿舎生活ができる
- ・時間を見て行動することができる

支援の説明（使用方法、配慮点など）



16:40	舍内掃除 全体掃除	
17:10	食堂に行く	
18:20	おふろ 「いってきます」	
20:50	就寝準備 「おやすみ」	



・本人が見やすい時計（デジタル、アナログ）を準備する。

・時間入りスケジュール表を時計と比較しやすい位置に掲示する。

・活動時間と時計を見るように促し、その都度確認する。

・予定入りカレンダーと一緒に作成、準備する。

・週始めと週末に日程を確認する場を設定する。

ひとつこと！

- ・毎日の日課や次週の予定を確認したことで、不安になることなく生活できている。
- ・時計の画像を入れたことで、実物と比較しやすくなった。

領域・教科名	所属（学部・学年）	(13)
	寄宿舎 女子棟 中学部2年	

ねらい

・発語があって会話でのコミュニケーションも取れるのに、挨拶や人の名前となると言葉にしようとしないところから、社会に出た時のことを考えて、挨拶を言葉で言えるように取り組む。

支援の説明（使用方法、配慮点など）



カードを使って職員と一緒に挨拶をする。

言葉で言えたら、大好きなアイドルのシールが貰える。1週間の間は小さ目サイズのシール。1週間頑張れたら大きめサイズのシールを渡す。



最初は、週カレンダーを作ってシールの台紙にしていたが、挨拶をする場面が増えていったのでシールを貼る枠が足らなくなり、2~3日分ごと、1日ごとの台紙に変更していった。

ひとこと！

大好きなアイドルのシールを貰えることを大変喜んでいて、シールを貰うために自分からカードを指差し、挨拶することへの意思表示をするようになった。これまで、言葉にしようとなかった挨拶を、小さくて何とか聞き取れる程度ではあるが言葉にするようになった。また、時々、カードを見なくてもハッキリと聞き取れる言葉で挨拶をすることもあった。